

日中友好新聞

府連通信

2022年9月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:info
@jcfaosaka.org
ホームページ
http://
jcfaosaka.org/

富田林支部 帰国2世の取り組み始める

アジア友好フェスティバルに参加

帰国3世が入会

帰国2世の支援の取り組みを始めた。市の国際交流センターを訪問し、日中友好協会の立ち上げを報告し、活動の交流をしました。

7月に帰国2世と3世の方がたち上げ開設された、中国人や帰国者のための訪問介護施設の運営者と懇談を持ちました。

8月の支部例会で運営者の3世のご夫婦からお話を聞かせてもらいました。おばあさんが1歳で残留孤児として残され、中国人の裕福な家庭で育てられ、文化大革命のときに命からがら麦畑の中を逃げ延びたこと、3世のMさんが日本に来て、苦勞したことなど聞かせてもらいました。帰国2世の両親と中国籍の夫と一緒に、介護施設を運営されています。富田林支部の活動を紹介し、この例会の日にMさん(30歳)が入会してくれました。

市議会で2世支援を質問

9月の市議会で岡田支部長(富田林市会議員)が、中国残留帰国2世の支援をもとめて質問しました。市民で戦時中に満州開拓団に送られた人の数などは把握されていない、帰国者に対する特別の対策はなく国への

日中国交正常化50周年
記念シンポジウム
9月17日(土)2時開会

ZOOMウェビナーでも配信されます。日中国交正常化50周年の歴史的な節目にあたり、日本中国友好協会は、日中両国が「すべての紛争を平和的手段により解決し、武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する」と宣言した日中共同声明の精神を確認し、悪化した日中関係の改善のため記念シンポを開催します。



スティバルへの参加を、年間行事に入れて、交流を深めたいと思います。(支部長 岡田英樹)

行委員会との協力関係が強化されました。今後は大阪春節祭や、アジアフェ

王希奇《一九四六》展

戦争は悲惨、平和が一番

8月31日〜9月4日、王希奇の私は、船内で母から何度も叩「一九四六」神戸展が開催され、女性部は7月28日のプレ企画事前学習会を経て、9月2日(金)に18名が参加、鑑賞後13名で交流しました。

会場に入ると、左に葫蘆島の荒々しい海、右に舞鶴の穏やかな海の絵画。その間に縦3m、横20mの大画面に、葫蘆島で105万人を超える引揚げ者の、乗船を待つ姿が描かれていた。遺骨を抱いた子ども、年寄り達の疲れ切った顔、するどい視線でこちらを見つめる少女。乳呑み児を負った母親が何人も。引き揚げ者のOさんは「乳呑み児

が寄せられた。

王希奇氏は制作途中に苦悩での苦しみ、悲しみは中国人も日本人も同じ』と思い描き続け5年をかけて完成した。



日本国憲法前文「・・・政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意」し、証として作られた9条・戦争の放棄。絵画「一九四六」は、国会議事堂内に掲げた作品です。(女性部 平澤)

第45回 全大阪きりえ美術展

★第45回記念画集
「大空のきりえ」発行しました

■大阪府内と関西のきりえサークル会員、愛好家・作家の作品を展示し手

2022年9月22日(木)〜27日(火)

午前10時〜午後6時(最終日は9時)

●後援 全大阪きりえ連絡会

●主催 大阪府 大阪市 日本中国友好協会 大阪府連合会



中国残留帰国者2世問題の解決を

弁護士会主催シンポジウムの参加を

シンポジウム「日中国交回復50周年・いまこそ中国残留帰国者2世問題の解決を！」が9月25日(日)午後1時から5時まで、福岡弁護士会館で開催されます。

開会あいさつは前田憲徳(九州弁護士会連合会会長)、基調報告は中原昌孝弁護士、基調講演は①浅野慎一神戸大学名誉教授と②南誠長崎大学多文化社会学部准教授が行います。

第3回帰国者問題
全国交流会

10月2日(日)10時から、オンラインでも参加できます。

西区平和展に長谷川テルを展示

9月4日『戦争はいやや西区平和展』が開催され、西支部は『長谷川テル』の展示をしました。ウクライナ状況が1930年代、日本が中国侵略した時と似ているといわれ、改憲・軍拡と叫んでいる中、絶好と思ひ、準備・用意しました。

90名余の見学者には積極的に声をかけ説明、案の定・長谷川テル知っていますかと聞けば、大半のかたが知らない、説明展でした。(平松悦雄)

2023カレンダー

『中国悠久の旅』

中国の名所旧跡が掲載されています。なかなか旅行に出かけられない状況ですが、カレンダーの写真でお楽しみください。

加害の歴史を考える
戦争パネル展

9月18日(日)から19日(祝)10時からエル・おおさか9階

夏季募金

8月末現在、2支部、33名、11万円のご協力ありがとうございます。

加害の歴史を考える
戦争パネル展

9月18日(日)から19日(祝)10時からエル・おおさか9階

東アジアの2つのうず巻き その2

平和と協力を主唱するASEAN

ペロシ米下院議長が台湾訪問を強行した8月3日から、ASEANはカンボジアのプノンペンで同外相会議を開催、内政・外交両面で積極的な議論を展開して注目されています。ASEANの内部問題としては、加盟国ミャンマーの「国軍」による民主活動家に対する死刑の強行を「暴力の即時停止」などASEAN5項目要求（21年4月）を無視するものとして、共同声明で厳しく批判しました。



ASEAN外交の日程も目白押しで、ASEANプラス3（日中韓）会合、ASEANプラス8（日・米・中・露・印・韓・豪・NZ）による東アジア・サミット（EAS）外相会議と続きます（下記：世界地図の黒色がEAS参加国）。東アジア・サミットは包摂型地域主義（対抗や排除をとらない）が基本理念とされ、東アジア・サミット参加国を拡大しながら友好協力条約締結に至る壮大な「ASEAN型インド太平洋構想」実現を目標にしています。

その大きな特徴は、日米が進めようとしている中国排除と東アジア分断を狙った「QUAD（インド太平洋）」構想には乗らず、東アジアから戦争と軍事的対立

城北支部 9月に中秋映画会

8月は納涼のつどいを予定していましたが、またもやコロナ感染再燃により中止しました。26日の定例支部役員会で以下の取り組みを決めました。

① 中秋映画会を9月28日（木）5時半から「活きる」鑑賞会を城東生健会事務所で。

② 百科検定受験促進講座を10月14日（金）5時から「初級・3級過去問題を解く」を城東生健会事務所で。（同上）日時未定ですが「中国の世界遺産」も計画しています。

③ 10月28日（金）5時半から第3回支部総会を城東区民センターで開催します。（西脇義彦）



中河内支部 河内の歴史と文化を学ぶ会

中甚兵衛と大和川の付け替え

「河内の歴史と文化を学ぶ会」を年金者組合と共催で始めて4回目、8月は「中甚兵衛と大和川の付け替え」について、日本列島の成り立ちから江戸時代の歴史や政治・文化を交えて浜支部長からお話を聞きました。

氷河期が終わり（1万年前）、「縄文海進」（6千年前）で海水は生駒山の麓まで達し、上町台地は半島に。その後、河内湾、河内潟、河内湖、河内平野と姿を変え、大和川は奈良盆地から亀の瀬を通り河内平野に流れ、有史以来洪水が絶えず、中甚兵衛の江戸直訴・付け替え運動から約半世紀、幕府は付け替えを決定。延長14km、川幅180m、8か月足らずで完成、工事費用は200300億円、延べ人員は286万



幕府の負担は新田開発の入札額とほぼ同額だった。参加者からは、わかりやすく学ぶことの喜びを再認識できたと感想が寄せられました。次回9月24日（土）は、大和川の付け替え工事に携わった中甚兵衛の顕彰碑（東大阪市今米）を訪ねることを企画しました。

中国百科検定の学習会を、9月16日（金）地理、10月21日（金）歴史、11月18日（金）政治・経済・文化のテーマで連続して開催することも決めました。

目下受験生を募集中です。中国をどれだけ知っているのか、初級から確認するのも楽しいことでは：（浜正幸）

陳式太極拳特別講習会 第3期スタート

8月21日、北スポーツセンターで「陳式太極拳特別講習会」が開催されました。講師は恒岡正勝先生。今回は10回コース第三期の1回目。もう一度最初から並立歩での立ち方（開胯・円裆、尾骨の巻上げなど）、開立歩での基本三手法、馬歩と偏馬歩など「動ける身体づくり」の指導を受けました。



次回（第二期3回目）は10月2日（日）北スポーツ多目的室です。二週間後ですが、しっかり復習をして臨みましょう。（柳川晋）

陳式太極拳特別講習会

武術は老若男女誰でもできます

あきらめず、続ける事がうまくなるコツです。固まりつつある体を鞭うって、緩めて動ける体にながら型を覚えていく。できた時の喜びはひとしおです。

皆さん、やりだした時よりますます元気です。かっこよく動けるようになっていきます。

グループに分けてリーダーとともに「ああでもない。こうでもない」と学びあいがらこの講習形態も長続きのコツかも？

剛の武術のように感じますが、力んでいて



（日中友好協会本部指導員・恒岡正勝）